



Madecom Times 2012年2月第84号



♥ 閏年 (うるうどし・じゅんねん)

今年(2012年)は閏年。2月29日は太陽暦と地球の自転速度とのズレを修正するために4年に一度設けられた閏日です。紀元前8世紀のローマ暦において既に閏年は定められていたが、当時は閏日ではなく、27日間または28日間の閏月が入り込んでいました。その後、紀元前46年に採用されたユリウス暦では4年に一度2月24日を閏日と定め、さらに1582年には2月29日を閏日としたグレゴリオ暦が制定されましたが、現在でも国によっては伝統的に2月24日を閏日としているところもあります。グレゴリオ暦では、西暦が100で割り切れて尚且つ400で割り切れない年は閏年とはなりません。したがって、1900年や2100年は平年ということになります。英語では閏日のことを“leap day”(跳躍の日)と言います。これは、平年はその前年の同じ日より1つだけ曜日が変わるので、閏年の翌年は1つ飛び越して(=leap)2つ変わります。その昔、イギリスでは、この日だけは女性から男性へのプロポーズが伝統的に公認され、男性はそれを断ることができなかったそうです。日本で現在と同じ閏年の定義が正式に法的に定められたのは明治31年(1898年)のこと。まだわずか百数十年前です。明治6年(1873年)に太陽暦が採用されるまで使用されていた天保暦は、月の満ち欠けを基準としてひと月の長さを決めていました。月の満ち欠けの周期は約29.5日のため、12ヶ月で354日となり、実際の1年より11日ほど短くなってしまふので、3年に1度閏月を作って、1年が13ヶ月となる年を設けていました。ちなみに、漢字の「閏」は「門+王」の会意文字で、王が門の中にこもる様子を表しています。古代中国では閏日(閏月)には王が門の中に閉じこもって政務一切を執らなかつた事に由来しています。ところで、Excelには1900年2月29日という存在しないはずの日付が存在します。このため、Excelの計算で「使用できる最も古い日付である1900年1月1日から2月29日まで」の間は、曜日がズレています。実際にはこのような古い日付を用いて計算することはあまりないでしょうが、一応ご注意ください。



♥ QRコードを作ろう 『QRのスヌメ』・『QRコード[二次元バーコード]作成』

横方向にしか情報を持たなかつた従来のバーコードに対し、縦・横に情報を持つQRコードはバーコードの数十〜数百倍の情報量を扱う事ができ、今ではありとあらゆる場面で利用されています。このQRコードは自分で簡単に作成することができます。多くの作成ツールが公開されていますが、今回はその中から2つをご紹介します。まず最初は『QRのスヌメ』(<http://qr.que.jp/>)。サイトにアクセスしてURL用、アドレス帳用、自由テキスト用から目的の物を選び、それぞれの画面で必要項目を入力してOKボタンをクリックすれば、QRコードが表示されます。あとは作成したQRコードをパソコンに保存したり、メールで送信したりするだけ。またそのQRコードを使ったスタンプの注文もできます。とてもシンプルな作成画面なので、初心者の方にも簡単に使えます。高機能版として、メールや地図をQRコードにすることもできますが、こちらは作成したQRコードを読み取ると画面に広告が表示されます。



2つめは『QRコード[二次元バーコード]作成』(<http://www.cman.jp/QRcode/>)。こちらもサイトにアクセスして必要項目を入力し、最後に「上記内容でQRコードを作成する」をクリックすればQRコードが表示されますので、これをダウンロードします。使用方法の丁寧な説明も用意されています。ここでは「誤り訂正機能を持ち、コードの一部に汚れや破損があってもデータの復元が可能」というQRコードの特徴を利用して、左図のような文字や画像を重ね合わせたQRコードを作成することもできます。さらに、動くQRコードや影付きQRコードに加工することも可能です。今回ご紹介したツールは、どちらもサイト上でQRコードを作成することができるので

パソコンにソフトをインストールする必要がありませんし、もちろん無料で利用できます。両方ともカラーのQRコードを作成することができますが、読み取り精度が落ちますので、一般的な白黒コードがおススメです。ハガキや名刺に印刷したり、また画像として携帯に入れておけば、赤外線通信を持たない機種を持つ人にもそのQRコードを読み取ってもらうことで簡単にアドレス交換ができます。バレンタインデーに熱いメッセージを埋め込んだQRコードをチョコレートに添えてプレゼントする…なんて使い方もありそうですね。♥

◆チラシ・フライヤー・会社案内・名刺などの デザイン制作・印刷 お任せください!!

株式会社 マデコム

- ◎パソコントラブル御相談下さい!
- ◎パソコン本体・周辺機器、格安にご提供させて頂きます!
- ◎パソコン教室無料体験実施中!

◎使い切ったインクカートリッジの回収!
ご協力お願いします!

◎ホームページ制作お任せ下さい!
更新が出来なくてなんとかしたい方!
今あるホームページの編集作業もお任せ!!



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1
TEL : 059-366-0888
FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : <http://www.madecom.co.jp>
発行 : 2012年2月1日
編集・作成 : 早川尚孝 / 中川香